

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月8日(2020.10.8)

【公開番号】特開2019-33937(P2019-33937A)

【公開日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-009

【出願番号】特願2017-157764(P2017-157764)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月28日(2020.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
未だ開始されていない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶に対応した特定表示を表示する特定表示手段と、を備え、

前記特定表示の表示サイズとして、大きさの異なる3つの表示サイズがあり、

前記特定表示の種類として、第1表示と第2表示とがあり、

前記特定表示の種類が前記第1表示から前記第2表示に変化することを示唆する変化示唆演出を実行する変化示唆演出実行手段をさらに備え、

前記変化示唆演出は複数種類あり、

前記特定表示が前記3つの表示サイズのうちの第1の表示サイズで表示されているときと第2の表示サイズで表示されているときとで、前記変化示唆演出の種類と実行割合とが異なる、

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、

可変表示(例えば、第2特図ゲームなど)を実行し、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当たり遊技状態など)に制御可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機など)であって、

未だ開始されていない可変表示に関する情報を保留記憶として記憶する保留記憶手段(例えば、第1特図保留記憶部や第2特図保留記憶部など)と、

前記保留記憶に対応した特定表示(例えば、保留対応画像H1～H4などの保留表示、アクティブ表示)を表示する特定表示手段(例えば、演出制御基板12など)と、を備え、

前記特定表示の表示サイズとして、大きさの異なる3つの表示サイズ（例えば、大サイズ、中サイズ、小サイズなど）があり、

前記特定表示の種類として、第1表示（例えば、シルエットなど）と第2表示（例えば、キャラA～Dのいずれかなど）とがあり、

前記特定表示の種類が前記第1表示から前記第2表示に変化することを示唆する変化示唆演出（例えば、変化示唆演出など）を実行する変化示唆演出実行手段（例えば、演出制御基板12など）をさらに備え、

前記変化示唆演出は複数種類あり、

前記特定表示が前記3つの表示サイズのうちの第1の表示サイズ（例えば、大サイズなど）で表示されているときと第2の表示サイズ（例えば、中サイズなど）で表示されているときとで、前記変化示唆演出の種類と実行割合とが異なる、（例えば、保留対応画像H1～H4が大サイズで表示されている期間の方が中サイズで表示されている期間よりも到来する割合が高いので、保留の発生に基づく変化示唆演出の実行割合は、大サイズで表示されている期間の方が高いなど）。